

7月度 例会 山行報告書		報告者	渡辺勝利	参加メンバー	CL; 町田、SL; 長島 M; 油井、塚本、三矢、 上田、津田、金子清、隆、 石原、藤田英明、金城、 吉田、渡辺勝利 14名
山名		山行日	07/31		
山域	富士山	07年 07月 28日(土)	~		

山行目	基礎体力養成 & 高所トレーニング	コースタイム(天候: 天気図記号)
-----	-------------------	-------------------

配布先
集会: 12
山行: 1
リター
原紙: 集
会担当者

ルート図(地図を見て正確に)

至 富士宮

07/28	晴後曇り一時にわか雨	13:00 デンソー正門前P発	他グループの到着待ち
		17:20 富士の宮5合目P着	11:30
		19:00	15:00
		20:25 新7合目	富士宮の「花の湯」にて汗を流した後、現地解散
		20:35	
		21:25 元祖7合目	17:30 刈谷着
		27:35	
		22:35 8合目	
		17:20	
07/29	曇り後晴一時にわか雨	01:55 頂上(浅間奥宮)	
		04:40	
		05:18 9.5合目	

山行報告 今年末の記念登山のための基礎体力養成と高所トレーニングを兼ねて、部の例会としては異例の29名の大部隊で出発。東名富士ICから西富士道路を経て富士山スカイラインの路上駐車場の長い列を横目に見て、富士宮口新5合目へ。予てからの計算どおりに駐車場に全車がうまい具合に納まった時はまだ陽も高い頃だった。早速個々に調達した夕食をとり、登山準備をしてグループ毎に出発。登頂後のお鉢巡り2周希望者のAグループは14名。SLの長島を先頭にゆっくりしたペースで快調に歩を刻む。月明かりと満天の星、下界の町の灯りに励まされながら8合目付近まで来るといつの間にか月に笠がかかり、ガスも出始め天候は悪化の兆しを見せ始めるようになってきた。8合目小屋にやや体調を崩し、その後の登山を自重された三矢さんを残しさらに先へ進む。この時間帯は登山者の数も比較的少なく、マイペースで登ることが出来るが9合目付近からの急登に渡辺の足が重くなり先行部隊と別行動となる。高山病の影響か?これではキリマンジャロへは行けないぞと思いつつも、渡辺と付き添いのCL町田とはさらにペースダウンし、漸く頂上に辿り着いたのは先行部隊到着から30分後のことだった。頂上付近はガスの中でお鉢巡りは「視界不良」で中止とし、浅間奥宮前で仮眠している間もかなり寒く、「おしくら饅頭」で暖を取る者もいた。そうこうしている間に他グループも相次いで到着した。

この頃になると頂上広場は立錐の余地もないくらいの登山客で溢れ返るようになり、早々にグループ毎に下山に移るもここからがさらに大変。登降路が同ルートである富士宮ルートの最大の弱点が如実に大渋滞に遭遇。登りの人の列が切れ目なく延々と続いてる様は異様な感じさえする。8合小屋で待機組と合流し、さらにスローペースで下山を続け、午前9時に喧騒の中の登山活動を終了した。

フリースペース
山の紹介・スケッチ・エピソード・その他自由に

駐車場にうまく駐車するコツは下山者のタイミングに合わせる事が肝要。
17時頃駐車場に到着がベターでこの時間帯を外すと路上駐車となり、5合目までの自動車道の登りが辛いものになる。

確認(リター)
町田
07/08/01
作成(報告者)
渡辺
07/07/31

リーダー所見 キリマン登頂を睨んだ訓練だから我慢も出来るが前の人の足元を見ながら、眠たさと脳が働かない虚無感での夜間登山は魅力がない。山頂付近のガスや寒さの中でOBや若手は良く頑張ったと思う。2回目以降の高度順応登山は何らかの工夫をした計画を提案したい。(多人数・小屋なし・トランシーバー・コミュニケーション)